

子どもの支援利用計画【週間計画表】 《幼児期》

児童氏名	仁成 歩 さん	保護者氏名	仁成 父 様	相談支援事業者名	〇〇相談支援センター
住んでいる市町名	〇〇市〇〇町			計画作成担当者	

計画開始年月	〇年4月
--------	------

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00								<生活の様子> 〇月～金 〇〇小学校 特別支援学級 〇月・木 下校後～17:30まで、放課後等サービス事業所を利用。 〇利用日以外の下校後は母・弟と過ごしている。
	起床・朝食							
8:00	登校（家族同行）							
10:00								*生活リズムは安定している。
12:00	〇〇小学校	〇〇小学校	〇〇小学校	〇〇小学校	〇〇小学校	家族と過ごす	家族と過ごす	<家庭内の過ごし方> 〇放課後等サービス事業所を利用する日は宿題を済ませて帰宅する。 <週末の過ごし方> 〇近くの公園で自由に遊んだり、ショッピングセンターに買い物に出かけたりする。 〇基本的に母もしくは父と過ごす。
14:00								
16:00	放デイ	帰宅	帰宅	放デイ	帰宅			週単位以外のサービス
18:00	帰宅	母・弟と過ごす	母・弟と過ごす	帰宅	母・弟と過ごす			〇〇〇医療センター 受診 1回/6ヶ月 OT 2回/1か月
20:00	夕食・入浴	夕食・入浴	夕食・入浴	夕食・入浴	夕食・入浴	夕食・入浴	夕食・入浴	〇授業内容や学校の体制状況により、家族が授業等に付き添う。週に数日大学生ボランティアが学習支援に入る。
22:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	*放課後等サービスに慣れれば、利用日を増やして欲しいと母親は考えている。（弟とゆっくり過ごしたい）
0:00								
2:00								
4:00								

支援の実施によって実現する生活の全体像

放課後等サービス事業を利用することにより、遊びや生活の場が保障され、発達年齢/生活年齢に応じた楽しい活動・できる活動を通し社会体験の蓄積が出来、自立に向けた生活の質の向上が期待できます。家族は本人が今後必要となる社会的なスキルの獲得を各場所で得られる事を願っている事から、本人が所属する各集団と家族が互いの情報共有と支援の方向性の統一が必要と考えておられます。連絡を密に取り合いながら、家族の安心が高められつつ、本人の発達を応援する計画としました。

母親中心の子育てであり、小さな弟と共にご本人は自己主張を強く押し通し、関わりの難しさや他者介入に応じない姿があります。本人の想いを尊重しながら、あらゆる場面で「選ぶ」機会を保障し、自分の想いと異なる状況においても適切な行動を知り、振る舞いの経験値を積み重ねる取り組みが必要です。（事後の情動を事前に推察でき適応行動が増える）